

R5 弟子屈町立美留和小学校 学校評価



校訓	○勉学 ○勤労 ○健康
学校教育目標	○よく考える子ども ○助け合う子ども ○がんばるぬく子ども ○進んで仕事をする子ども ○強いからだの子ども
目指す子どもの姿	○「いい目」で学習する子ども ○「いい耳」で友達や先生の話聴く子ども ○「いい心」で友達や先生と接する子ども ○「いい口」で自分の思いや考えを述べる子ども ○「いい鼻」で地域の良さを感じる子ども ○「いい体」で明るく元気に過ごす子ども

※評価は、上段7月、下段12月 ※とてもそう思う(4点)、B:そう思う(3点)、C:そう思わない(2点)、D:まったくそう思わない(1点)

観点	No.	児童アンケート	評価	保護者アンケート	評価	教職員自己評価アンケート	評価
子どもたち一人一人の可能性を引き出す教育	1	先生方は、自分のことを、褒めたり、認めたり、励ましたりしてくれる。	3.1	学校は、児童を認め、褒め、励まし、やる気を伸ばす教育を充実させている。	3.9	教職員は、日常的に、児童を認め、褒め、励まし、やる気を伸ばす働きかけや授業・教育活動を行っている。	3.9
	2	タブレットを使って、楽しく調べたり学んだりすることができる。	3.7	学校は、ICT 機器(タブレット等)を効果的に活用し、授業を行っている。	3.6	教職員は、ICT 機器(タブレット等)を効果的に活用し、ロイロノートやオンライン学習などを取り入れた授業を行っている。	3.3
	3	学習すると、「わかった」「できた」「楽しい」と思うことが多い。	3.2	学校は、「わかった」「できた」を大切にした「楽しい」と思える授業を行っている。	3.9	教職員は、授業研究と授業改善を心がけ、児童が「わかった」「できた」「楽しい」と思える授業を行っている。	3.4
	4	先生方は、自分が困ったり悩んだりする時に、助けてくれたり支えたりしてくれる。	3.1	学校は、児童一人一人を大切にした教育を行っている。	4.0	教職員は、インクルーシブ教育を目指し、ユニバーサルデザインを意識して、児童一人一人を大切にした働きかけや授業・教育活動を行っている。	3.1
	5	キャリアパスポートを使ったり、将来のことを考えたりして、目標に向かって努力している。	3.1	学校は、地域と連携したり、キャリアパスポートを活用したり等、キャリア教育を充実させている。	4.0	教職員は、地域と連携したり、キャリアパスポートを活用したり等、児童一人一人の将来のためのキャリア教育を行っている。	2.9
	6	社会見学などで、町や地域のことを調べたり、いろいろな文化を学んだりしている。	3.6	学校は、町や地域を調べたり、他地域の文化を学んだり、ふるさと教育を充実させている。	4.0	教職員は、町や地域・関係機関との連携を密にし、児童がふるさとを学べる教育の実践を行っている。	3.9
学びの機会を保障し質を高める環境	7	学校や家では、いろいろな種類の本を読んでいる。	2.4	学校は、豊かな感性を身につけさせるために、読書の楽しさを味わわせている。	4.0	教職員は、児童に豊かな感性を身につけさせるために、読書環境を整え、読書に親しむよう指導している。	3.4
	8	自分から進んで、農園・花壇の作業をしたり、駅の清掃をしたりしている。	3.4	学校は、家庭・地域と協力しながら、自然・人・産業に関わる体験的な教育活動を行っている。	4.0	教職員は、家庭や地域・関係機関との連携を密にし、児童が自然・人・産業に関わる体験的な教育活動の実践を行っている。	3.9
地域と歩む持続可能な教育	9	学校や地域、家でも、自分から進んであいさつしたりマナーを守ったりしている。	3.6	学校は、道徳の時間を要に、挨拶や礼儀、マナーを守ること等の大切さを指導している。	3.7	教職員は、自ら笑顔と明るい挨拶を心がけ、児童が、場に応じた挨拶や言葉遣い、時間を守ることや時と場に応じた言動ができるよう努めている。	3.8
	10	友だちや先生と仲良くしたり、やさしくしたりしている。	3.7	学校は、協調性や思いやりを育み、豊かな心や創造性を育む教育を行っている。	4.0	教職員は、自らの人間性を高めつつ、児童が友達や先生と仲良くしたり、友達に思いやりを持って接したりできるよう、適切な指導を行っている。	3.8
	11	学校や家では、自分から進んで、たくさん運動をしている。	3.2	学校は、体力づくり等、体力向上のための取組を行っている。	3.7	教職員は、児童に体力向上の意義を伝えるとともに、意欲的に体を動かす喜びを実感できるような活動の工夫を行っている。	3.6
	12	自分から進んで、感染症に気をつけたり、そうじをしたりしている。	3.4	学校は、感染症対策等、衛生的な学校環境や活動を充実させている。	3.7	教職員は、児童に生命の尊さや安全で衛生的に生活する意義を伝えるとともに、衛生的な環境を整えたり、活動の工夫をしたりしている。	3.9
	13	早寝早起きや清潔な身なりをすること、朝ご飯を食べることなどに気をつけている。	3.4	学校は、家庭と連携し、児童に基本的な生活習慣・食習慣を身につけさせる取組を行っている。	4.0	教職員は、家庭と連携し、児童に基本的な生活習慣・食習慣が身につくよう指導している。	3.4

No.	アンケート項目	美小としての分析・考察・展望
1	「褒める・認める・励ます」を意識し、児童のやる気を伸ばす教育の充実	「褒められていること」「認められていること」「励まされていること」を、子ども達がより実感できる、声かけや指導を続けてまいります。
2	ICT の活用による個別最適な学びと協働的な学びを表現する授業改善	子ども達にも保護者の皆さまにも十分満足はいただいている結果ではありますが、研修を行い、より有効的な活用を目指していきたいと考えます。
3	「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善	保護者の皆さまには十分な評価をいただきましたが、今後も「わかった」「できた」「楽しい」「嬉しい」と思える、授業づくりをしてまいります。
4	インクルーシブ教育の理念に基づいた特別支援教育の充実	「助けてもらえていること」「支えてもらえていること」を、子ども達がより実感できる、寄り添いや声かけ・指導等を続けてまいります。
5	地域と連携しキャリアパスポートを活用したキャリア教育の充実	自分の将来の夢や目標に向かって努力していることを、子ども達がより実感できる教育活動を進めていきます。
6	地域づくりに主体的に参加する意欲や態度を育むふるさと教育の充実	「本物を見て、触れて、感じる教育活動」は、美留和小のストロングポイントです。今後も充実した活動となるよう、努力してまいります。
7	学校や家庭における自主的・自発的な読書活動の推進	読み聞かせをはじめ、「図書に触れる・親しむこと」は、豊かな心づくりに繋がる大切な活動だと思います。時に、ご家庭の協力も得ながら、より読書に親しめるよう、指導を続けてまいります。
8	本物に触れる体験や地域素材を積極的に活用した体験活動の推進	項目6と同様、「豊かな体験活動」は、美留和小のストロングポイントです。今後も充実した活動となるよう、努力してまいります。
9	「考え議論する道徳」を要とする道徳教育の充実	これからも高い評価をいただき、実際の生活の場面でも実践できるよう、引き続き、教職員共通理解のもと、挨拶や言葉づかい等の指導を行ってまいります。
10	望ましい人間関係を自発的に形成する態度を育む取り組みの充実	これからも、全児童を全教職員で見守り、適切な声かけや指導を続けてまいります。
11	たくましく生きるための体力を育む教育の充実	1学期は「大運動会」の取組を中心に体力作りに励んできました。2学期は「美留和マラソン」、3学期は「スケート学習」「スキー学習」を中心に、体力作りに励んでまいります。
12	感染症や健康課題に対応する健康教育の充実	これからも、自分の命や周りの人の命のこと、安全で衛生的に生活することの大切さを伝え続け、自ら進んで実践できるよう指導を続けてまいります。
13	望ましい生活習慣や食習慣の定着	「早寝・早起き・朝ご飯」「適度な休息」「整った生活リズム」を児童自らが意識し実践できるよう、指導を続けてまいります。
	保護者自由記述欄より	美小の教育活動に対して、喜びと手応えを感じていただいているようで大変嬉しく思っています。今後もそういった思いを持って頂けるよう、謙虚に尽力してまいります。
	教職員自由記述欄より	保護者の皆さまのご協力と地域の支えに感謝しながら、今後も「全児童を全教職員で!」「児童・保護者が、通いたい・通わせたい学校に!」を合い言葉に、謙虚に尽力してまいります。

保護者の自由記述欄より(一部抜粋)

- 1日も休まずに通えたことは、本人が学校に行きたいという気持ちが強く、それに対して先生皆様のサポートがあったからだと思えます。ありがとうございました。引き続きよろしくお願い致します。
- 本人、楽しんで学校に行っています。今後ともよろしくお願い致します。
- 学年と環境が変わり、友達とぶつかえることが増え、これから先どうなるかと心配していましたが、校長先生や教頭先生が現状を把握しており、子どもの個性を尊重した上で適切に対応して下さったおかげで、今では仲良しになり、安心しました。学校と家庭との距離が近く、地域の方々も温かい所が美小の良さだと思います。
- 子どもが毎日学校に行くのが楽しいと言っています。それが答えなんだろうなあと思います。美留和小学校に感謝です。
- 少人数ならではの体験型の授業が多く、時々の子どもの状況に合わせて臨機応変に対応していただいていると思っています。これからも「楽しい」をモットーに、のびのびと小学校生活を送ってもらえる事、親としても楽しみです。
- オリンピック選手と交流したり、取材を受けたり、臨機応変に沢山の貴重な体験を子ども達にさせていただいて嬉しいです。

教職員の自由記述欄より(一部抜粋)

- 大運動会は4年ぶりの開催と感じさせないほど、よい流れ、よい雰囲気でした。
- 教職員が勤勉さを発揮することができました。
- 全教職員で全児童を見守り、適切な声掛けができたことにより、児童一人一人の成長を感じることができました。
- それぞれの先生が個性を発揮するとともに、どんな小さな事でも情報を共有して教育活動ができていたのが良かったと思います。
- 子ども達からたくさんのエネルギーを感じました。今後も、全児童を全教職員で育てていく美留和小の姿勢を続けるため尽力したいと思います。
- 今年度も様々な体験活動ができて良いと思います。
- 給食の食べ方や礼儀など、これからもご家庭と協力しながら指導を続けていきたいと思えます。
- 自分自身も日頃から意識しながら、挨拶や返事・言葉づかい等を指導していきたいです。
- 感染症や流行などについて、正しい知識を持ち、実態に合った対応が必要となるので、今後も研修や情報収集を続けていきたいと思っています。

1学期末に「児童」「保護者」「教職員」のアンケートを実施いたしました。ご協力ありがとうございました。  
「分析・考察・展望」の欄にもありますが、アンケートの結果につきましては、良くて悪くても、謙虚かつ真摯に受け止め、『より良い教育活動』を目指して、教職員一同、今後もより一層頑張っていきたいと考えております。重ね重ね、ご協力大変ありがとうございました。今後とも宜しくお願い致します。